川口町公民館報
公民館報
第62号
発行人 星野輝政
編集人 金子真
印刷所 山男堂印刷所

新しい年を迎え町民の皆さまへ

川口町長 大淵鉄太郎

新年おめでとうございます
顧みるに昭和三十七年には待望の川口小学校々舎十五教室並びに管理棟一棟が完工し、旧東西両校の児童を完全に収容なし得たことは議会議員諸賢の御協賛と町民各位の御援助御協力の賜と厚く御礼申上げます。
何といっても教育施設の整備は人づくりの根源をなすもので、町としては施政の主力をこれに集中しておる次第でありまして、本年に於ては川口小学校は屋体、玄関、廊下及び便所の施設を以って一応全部の工事を完了いたしたいと思いますが更に木沢小学校の屋体をはじめ、各学校の増改築整備等も計画しておる次第であります。
次に道路改良は産業の振興と密接不可分の関係でありまして、昭和三十七年には国道十七号線の舗装をはじめ、木沢トンネル工事、県道田麦山線の特改工事、荒谷橋の永久橋架換工事等に約一千五百万円、治山治水事業として魚野川両岸の堤防工事、武道窪、木沢の砂防工事及び災害復旧工事を含めて約七千万円の工事が出来ましたが、本年は更にこれ等の継続工事と新規箇所の大巾な予算獲得をなすと共に農道、林道の開設にも補助予算の獲得をいたす考えであります。町道を県道に編入の問題については町の主要道路四線(竜光、野田、和南津西川口、塩殿、相川、荒谷、駿木、山相川、明神)を県道に認定いたすべくその促進に邁進する考えであります。
何卒町民各位に於いても旧来に倍する御支援と御協力を賜わり町勢の伸張にお力添えを下さるようお願いいたし年頭のことばといたします。

明かるい政治は公明選挙から
～地方選挙にそなえて～

川口町選挙管理委員長 佐藤精一

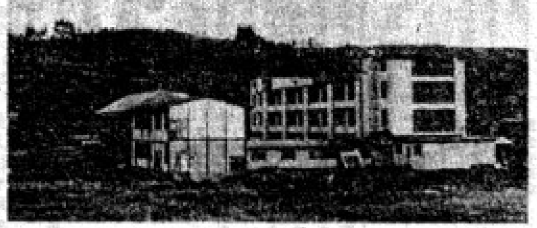
今年は、四月に県議を始め町長及び町議等身近かな選挙が行なわれます。
民主政治が一般国民に参政権を認めているのは、政治が国民の共同責任だからほかならないのであります。
選挙権は権利であると同時に、大きな責任を伴う国民の義務でもあります。これは、金品や代償をもらって人に売りつけるものではないのであります。日当をもらわねば投票所に行かないとか、金や物をもらう代りに投票するのだとか考えたらとんでもないことであります。同じように政治に無関心でめんどうくさいとかつまらないとかいって正当な理由もなしに選挙権を棄ててしまうのも公民の責任を忘れた心得違いと言わなければなりません。
いうまでもなく議会政治は民意による政治でありますから選挙は文字通り議会政治の土台であります。その土台が金力や情実で腐っていては、そんな土台の上に、公明で健全な政治が成り立つはずはありません。
その意味で政治をきれいなわれわれのためになる政治をしようと思いますなら、まず選挙そのものを清潔にすることが根本であります。選挙で多くの金を使う人は、あとでそれを回収しようとするから不浄の金にもうそつきの金にも、汚い利権にもつい手を出すことになります。金力で左右された選挙から生まれるのは当然に金力で支配される政治であります。
選挙を浄化し粛正する根本は、なんといっても有権者一人一人の自覚にあります。法律がどんなに細かく規定してもどうしても抜け道があるしその運用にも手抜かりがありましょう。けれども有権者に良識があり公民としての自覚をもって監視すれば、目にあまる事前運動も非常識な選挙運動も結局候補者のマイナスになるだけですから、そのような運動はおのずから追放されます。
年頭に当り所信の一端を述べて、来るべき選挙が汚れのない清い選挙が行われますよう望む次第であります。

教育の施設設備の充実と人づくりをめざして

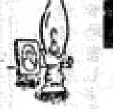
川口町教育長 星野輝政

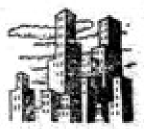
戦後十七年をふり返っての義務教育は進駐軍のおしつけた教育施策の実践から独立後のわが国の新教育施策の進展は日に月に軌道に乗って、今日程教育の重要性をさけばれつつ住民の教育への認識の度の深まってきたことは学制以来であろうと信じます。就中当町においては教育の大理想実現のため、町財政の極めてひっぱくの中にもかかわらず川口町有史以来の大事業である統合校舎の完成を見、昭和三十八年には屋体及び附属建物を早期に完成し、名実共に立派な学校として誕生することの出来ましたのも町全体の教育への深い理解と熱意の結晶でありまして衷心から喜び心から敬意を表している次第であります。
円満なる行政の執行円満なる団結の力がどれほど偉大なるものであるかは、この統合校舎の実現によって事実が証明されるところであります。立派な校舎施設設備の完実した校舎が出来上ってもなんと申しましても教育は人であります。優秀な教職員を始め理解のある地域住民の人づくりが同々相俟ってこそ教育の実が挙がるものと確信いたします。その他各学校の改築、修理及増築等山積しておりますが総ては、全体の協力と全体の力の結集こそあれば何物たりとも恐るるに足らないと信じます。
この教育充実への機を逸せず教育委員会は、川口町教育五ヶ年計画を樹立し之れが実現に邁進しようと努力しております。
この計画の実現こそ保育園の幼児から義務教育、高校教育大学教育を考慮し更に一般住民の社会教育にもホコを進めず人づくりのために不断の配慮をおしまないものでありますが教育のすべては地域住民の強に勝に絶大な御協力がなければ到底初期の目的達成が出来ないので特段の御支援の程を賜りますよう年頭に当り来る年も来る年も豊年でありますよう町民の皆様にお願いする次第であります。

川口中同窓会寄贈による 豪華な校旗



昭和37年度工事完成した川口小学校





謹賀新年

議長 青柳弘
副議長 小宮山賢吉

委員会名 ◎委員長名 ○副委員長名	氏名
◎総務	佐藤角一郎
○総務	大渕洋治
総務	山田寅之助
総務	小見方雄
総務	星野林之助
総務	平沢茂
総務	星野武夫
◎産業土木	渡辺文治郎
○産土	星野光威
産土	関久作
産土	喜多村清松
産土	宮真五郎
産土	綱治平
産土	上村忠作
◎社会文教	目黒寅吉
○社文	関正治
社文	小宮山久作
社文	樋口三郎
社文	石坂金次
社文	小宮山賢吉
社文	古田島徳八

教育委員会

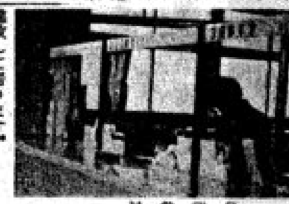
委員長	大渕清治
委員	鈴木六郎
委員	関平吉
委員	古田島和太郎
教育長	星野輝政

川口郵便局舎新築に当って

川口郵便局長 窪田一郎

数年に渉り要望に要望を重ねて参りました局舎新築も昭和三十六年、国営局舎新築と決定され、町当局、町会議員の皆様並びに、地主各位の御協力、御尽力によりまして三十六年度敷地買収、三十七年七月局舎新築工事が開始され、十一月十五日竣工、十九日移転開局致しました。
敷地百八十二坪強、局舎建坪八十五坪強、工事費は水道ガス工事費を入れまして六百五十万円で御座居ます。尚電々公社が電話交換機及び附属機械の新品を設備するに要しました金額は四百万円で御座います。竣工までの間、皆々様方の御支援、御協力に対しまして、深く感謝の意を表する次第で御座います。
当川口郵便局は明治七年十二月一日の開局でありまして前局舎は昭和十六年十二月一日新築移転した局舎で御座います。当時、職員は十七名で御座いましたが、終戦後、各事業共発展に発展を重ねまして、只今では、二十九名の多きを数えて居ります。川口町発展と正比例に物資は激増する、局舎は狭い為仕事の能率は低下する、町民の皆様にも御不便をお掛けした事と深くお詫びを申し上げます。
終戦后、郵便事業も途時発展致しまして、最近一年間の手紙、ハガキの取扱量は、全国で七十三億通を越える状況でありますが、当局も年間百五十万通を取扱って居ります全国での郵便貯金の現在高は一兆四千億円を超え、簡易生命保険の契約金額も二兆四千五百億円に達し国民生活の安定、文化の向上に寄与しているので御座います。郵便貯金簡易保険によって蓄積されました資金は二兆三千二百万円で、この巨大な資金は挙げて国及び地方の公共事業に融資されましてわが国経済の開発に大いに役立って居る次第であります。
当局の貯金集積高は六千五百万を超える事で御座いましよう。本年三月迄の目標額四百三十八万円に対しまして八百六十万円を超過しまして、目標額の二〇〇%と言うのが昨今の現状であります。川口町町民各位の貯蓄精神の旺んなるに驚き入ると共に、深く敬意を表する次第であります又簡易保険契約高も二億五千万円を超え保険料の集積は、年千三百万円余で御座います川口町への融資は長期で二千五百五十万円で御座いまして利率は年六分五厘で学校施設補修、道路、ガス事業、水道事業等に使用されたもので御座います。又短期は、三ケ月ぐくの償還で日歩一銭七厘三毛で五百万円融通して居ります。
電話の加入数は終戦当時十八加入で御座いましたが、終戦後は、年々御申込みが沢山御座いまして現在百三十七加入となって居ります。電話の年間の収入は、三百万円を超える優秀な成績を上げて居ります。申込みの積滞数も三十を超え年々積滞数は増加するばかりで御座います。農村公衆電話も小千谷電報電話局の好意によりまして、無電話部落相川、荒谷、天納、武道窪、竹田、牛ケ首、木沢、峠、西井局区内では、小高山の相川貴、相川口と開設せられ、川も開設を見殆んどの部落に、電話が架設せられた事は嬉しい事で御座います。近い将来は和南津の奥と八郎場に加設されますよう念願して居ります。
終りに当局職員は、局舎の新築はなる、オートバイ三台軽三輪一台の配備は受けるで一段と職責の重大さを感じ益々公僕精神に徹しまして、迅速、懇切丁寧をモットーに、サービスの向上に最善の努力を傾注し、町民皆様の郵便局として、愛される地歩を築き上げたいと一層張り切って精進致して居ります。
町民の皆様何卒福祉増進文化の向上の一環として心安く御利用下さると共に絶大の御支援と御援助を賜わりますよう念願致しまして私の御挨拶と致します。

局舎全景



局舎窓口

★ ★ ★ ★

(((年末年始の防犯事故防止)))

年末年始は各種行事、雑踏、物資の移動による交通量の増加、降雪による悪条件などで犯罪をはじめ、交通火災事故の多く発生する時期です。楽しいお正月を迎えるため犯罪と事故防止にみんなで次のような注意と措置をいたしましょう。

一、町から迷惑行為を追放しよう
現在、地域のいかんを問わず軽犯罪的な粗暴行為で社会や人に迷惑を与えるような行為が余りにも多く、しかもそれが公然と行われており周囲のものもまたこれを黙認しみのがし放置していることである。
これらの行為対象とは
1. ぐれん隊、不良青少年による粗暴行為
2. 押売りおよび悪質なし舞行為
3. めいていい者による迷惑行為
4. 路上での迷惑行為
5. 運転手の迷惑行為
6. 公衆ならびに興業街中上の有害行為
で町民の日常生活に不安、困惑を与える犯罪である。
個人又は地域社会においてこれ等の迷惑行為が発生している場合はこれを許容せず注意制止をなすと共に警察に被害届けをしていただきたい。

二、盗犯、火災事故防止
1. 最近広域的な学校、事務所荒しが多発しているから、防犯態勢を強化していただきたい。
2. 倉庫の施設完備、各種事業場の資材整備と点検の励行を願いたい。
3. 衣類などの詐欺師人は今までの例よりも多いので注意が必要です。
4. 使用中の電気器具、ガス器具、及び火気使用ヶ所に常に注意と点検をしましょう

三、雑踏事故防止
1. 多数人の集る学校、映画館公民館、旅館などの建物は雪おろしの励行と、火災発生に備いて非常口の設置につとめていただきたい。
又一般家庭でも家屋の控えている町部は表出入口以外に避難できる状態に留意してほしい。
2. 主要道路、通学路でなだれ危険ヶ所には防雪施設を設置してもらいたい。
3. 火災発生に備いて除雪、道路によって道路の確保をしてほしい。

四、交通事故防止
年末より年始にかけてとくに飲酒の多い時、飲酒運転をしない事は勿論、事前に飲酒の場所に出席する事の分る時は自動車、バイク等を運転して行かない心使いをしてほしい。
2. 人出が多くなり路面も悪くなりますので、速度、運転方法に充分注意が必要です
3. 設備外乗車の禁止(貨物の荷台、耕運機のリヤカーの乗車、一種バイク、自転車の二人乗り)安全確認のための踏切直前の停止を確実に守ってほしい。

(文責 上村)

△ △ △ △

◆郵便局からのお願い◆
郵便物の事故は必ず申告しましょう

郵政省では、郵便物がまちがいなく早く届くよう努めています。
もし皆様の郵便物が着かなかったり、中身が足りなかったり、その他事故があったときは、書留に限らず、普通郵便物であってもすぐ近くのゆう便局へお申出下さい。
差出人ばかりでなく、受取人からも申告ができます。し、どこのゆう便局でも申し出を受けて、時間の調査票により調査して、その結果をお知らせすることになっています。
なお、書留ゆう便物については、取扱経路によって正確に調査し、万一事故があると損害賠償することになっております。
また普通ゆう便物についても、調査は相当期間かかる場合もありますが、普通扱の事故だから調べても判らないだろうとお考えにならず、その事故の原因がどこにあるかを調査いたしますので、つとめてお申し出下さい。

普通郵便物の現金封入はやめましょう

普通ゆう便物(普通速達も含む)へ現金を封入して差し出しているものがかなりいるようですが、これはゆう便法で禁止されております。現金は必ず現金書留で出しましょう。また小額送金の方法もあるので為替ゆう便局へご相談下さい

創立十五周年を祝う

中学校中庭

川口中学校創立十五周年を祝う記念式典は去る十一月二日に盛大に挙行されましたが町当局を初め、PTA、後援会、商工会、同窓会の各位の御協力と経費の拠出とによりまして、記念事業も予期以上の成果を上げる事の出来ました事を、会計報告と合せ御伝え致します。

記念事業関係

収入の部

町会計	七万円
振志寄附	十万円
有志	一万三千円
PTA、後援会	十七万六千参百五拾円
計	三十五万九千参百五拾円

支出の部

池、排水等	二十八万五千九百参拾円
芝、銅木	四万千円
雑費	九千九百弐拾円
ブロンズ	二万二千五百円
計	三十五万九千参百五拾円

記念式関係

収入の部

町費	四万円
PTA	一万五千円
後援会	一万円
会費	一万八千八百円
寄附	三千七百円
計	八万七千五百円

支出の部

祝事	二万二千八百円
記念品他	九千六百弐拾七円
祝宴	五万五千七拾参円
計	八万七千五百円

校旗関係

収入の部(十二月二十五日現在)
拾万参千六百円也

支出の部(写真一個へ)

校旗	九万四千円
通信費	八千四百円
雑費	千百円
消耗費	未支払い
計	拾万参千五百円也

同窓会員の骨折りの校旗の寄附金は皆々と送附されていますので中間発表とします。以上十五周年記念事業の収支の大要を記しましたが、町民各位の御協力を感謝して筆を止めます。

(文責 岡村)

謹賀新年

職名	氏名
町長	大渕鉄太郎
助役	佐藤邦平
収入役	石坂久平
教育長	星野輝政

課	氏名
総務課	山田□作、桜井仁夫、桜井文夫、山田康子、古田島俊、森山ミツ、佐藤ヤイ、山田鉄夫、小宮山秀雄
出納室	佐藤精一、渡辺男、岩崎生子
社会課	大渕卓二、関口治郎、佐藤与□男、関ユリ、桜井サト、大渕富一、内山孝子
税務課	岡村賢吾、古田島博英、川上敏夫、佐藤誠、星野正
産業課	大渕雄郎、山田栄作、上村一夫、森山留三、関公一、広井幸雄、杵渕光行、星野さとる、鈴木タツヱ
土木課	広井市郎、関玉男、佐藤正勝、古田島友一郎、野口和幸、真島淳、山田和、目黒富夫
教育	金子真、中野光代、岡村陽子
ガス水道課	関誠一郎、中林辰夫、渡辺敏男、古田島正作
支所	真島早苗、大渕トシ、佐藤井
川口診療所	栗原雄、関ムツ、野口キミ、丸山見、生越イシ子、覚張千代野
田麦山診療所	森山ツイ